

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2002-28328 (P2002-28328A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 29 日 (2002.1.29)
 【出願番号】特願 2000-212749 (P2000-212749)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 A

A 6 3 F 7/02 3 5 0 B

A 6 3 F 7/02 3 5 2 N

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 3 日 (2004.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を統括的に制御する遊技制御装置と、

遊技制御装置からの制御指令信号に基づいて遊技球の排出を制御する排出制御装置と、

前記排出制御装置に制御されて遊技球を排出する排出装置と、を備えた遊技機において

、

当該遊技機の異常を検出する異常検出手段と、

前記異常検出手段による異常検出に基づいて、遊技機外部に異常検出信号を出力する出力部と、

前記異常検出手段による異常検出に基づいて、遊技者に認識可能な報知装置により異常の報知を行わせる報知制御手段と、を備え、

前記異常検出手段によって検出される異常は、前記遊技制御装置に入力される各種センサからの検出信号に基づいて異常と判定する第 1 エラー状態と、前記排出装置を異常に動作させるような作用が当該遊技機に加わることを異常と判定する第 2 エラー状態と、を含み、

前記異常検出手段が前記第 1 エラー状態を検出した場合に、前記報知制御手段によって前記報知装置に異常報知を行わせる、一方、

前記異常検出手段が前記第 2 エラー状態を検出した場合に、前記報知制御手段によって前記報知装置に異常報知を一切行わせないとともに、前記出力部から遊技機外部に異常検出信号を出力することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記排出装置から排出された遊技球を検出する排出球検出手段を備え、

前記異常検出手段が検出する異常は、前記排出装置が動作していないにもかかわらず、前記排出球検出手段により遊技球が検出されたことであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

第1の発明は、遊技を統括的に制御する遊技制御装置と、遊技制御装置からの制御指令信号に基づいて遊技球の排出を制御する排出制御装置と、前記排出制御装置に制御されて遊技球を排出する排出装置と、を備えた遊技機において、当該遊技機の異常を検出する異常検出手段と、前記異常検出手段による異常検出に基づいて、遊技機外部に異常検出信号を出力する出力部と、前記異常検出手段による異常検出に基づいて、遊技者に認識可能な報知装置により異常の報知を行わせる報知制御手段と、を備え、前記異常検出手段によって検出される異常は、前記遊技制御装置に入力される各種センサからの検出信号に基づいて異常と判定する第1エラー状態と、前記排出装置を異常に動作させるような作用が当該遊技機に加わることを異常と判定する第2エラー状態と、を含み、前記異常検出手段が前記第1エラー状態を検出した場合に、前記報知制御手段によって前記報知装置に異常報知を行わせる、一方、前記異常検出手段が前記第2エラー状態を検出した場合に、前記報知制御手段によって前記報知装置に異常報知を一切行わせないとともに、前記出力部から遊技機外部に異常検出信号を出力することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

第2の発明は、前記排出装置から排出された遊技球を検出する排出球検出手段を備え、前記異常検出手段が検出する異常は、前記排出装置が動作していないにもかかわらず、前記排出球検出手段により遊技球が検出されたことであることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【発明の作用および効果】

第1の発明では、異常検出手段によって、遊技制御装置に入力される各種センサからの検出信号に基づく異常（第1エラー状態）と判定された場合には、報知制御手段によって報知装置に異常報知を行わせる、一方、排出装置を異常に動作させるような作用が前記遊技機に加わることによる異常（第2エラー状態）と判定された場合には、報知制御手段によって報知装置に異常報知を一切行わせないとともに、出力部から遊技機外部に異常検出信号を出力するので、遊技機の排出系に異常が生じると、この異常を検出したこと遊技者に知らせることなく、遊技店の従業員ののみが知ることができることから、遊技者の不正行為を発見するとともに、その実態を把握することができるので、不正行為に適切に対処することができる。特に、不正に遊技球を排出させ、遊技店が金銭的被害を被るような不正行為が行われた場合に、その行為を一定時間継続させるので、不正行為の証拠を押さえることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

第2の発明では、前記排出装置が動作していないにもかかわらず、前記排出球検出手段により遊技球が検出されたことにより異常を判定するので、あり得ない動作を異常として、明確に検出することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】